

(R7) 竹松86号建物シャワー室改修工事

件名	(R7) 竹松86号建物シャワー室改修工事			図面番号	1 / 9
図名	表紙			縮尺	
業務隊長	管理科長	営繕班長	ホィン・電気・給排水・営繕主任・工事企画・管財	設計者	
了	了	了	了	了	
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班				令和 7年 5月26日	

仕 様 書

- 1 工事件名：(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事
- 2 工事場所：長崎県大村市富の原1-1000 陸上自衛隊竹松駐屯地
- 3 工事概要：本工事は86号建物3～7階シャワー室及びシャワーユニットの全面改修工事を実施する。

項目	工 種	数量(設計)		備 考
建 築 工 事	養生・整理清掃後片付け	125.00	m ²	(シャワー室+周辺廊下10m ²) × 5707
	内部仕上足場	75.00	m ²	脚立足場
	軽量鉄骨壁下地撤去	32.75	m ²	65形
	軽量鉄骨壁下地新設	38.63	m ²	65形 スタット 間隔300 開口部補強含む。
	軽量鉄骨天井下地撤去	45.17	m ²	19形
	軽量鉄骨天井下地新設	43.84	m ²	19形 野縁間隔300
	内装用吹付タイルE撤去	32.75	m ²	アスベスト含有(レベル3)
	複層塗材CE新設	138.20	m ²	全面新設：41.51m ² ・上塗りのみ：96.69m ²
	天井ボードNAD塗り	43.84	m ²	
	ビニル床シート撤去	45.17	m ²	厚2.5mm
	ビニル床シート張り	43.84	m ²	厚2.5mm(抗菌)
	ビニル巾木撤去	72.55	m	H=100mm
	ビニル巾木張り	72.55	m	H=100mm
	壁ケ酸カルシウム板撤去	32.75	m ²	アスベスト含有(レベル3)
	壁ケ酸カルシウム板張り	38.63	m ²	F☆☆☆☆ 厚9mm タイプ2(無石綿)
	天井ジョイント石膏ボード撤去	45.17	m ²	厚9.5mm 塩ビ廻り縁含む
	天井ジョイント石膏ボード張り	43.84	m ²	厚9.5mm 塩ビ廻り縁含む
	シャワーブース新設	61.94	m ²	5か所
機 械 設 備 工 事	シャワーユニット(0812)撤去	15.00	基	1フロア3基×5フロア
	シャワーユニット(0812)新設	15.00	基	1フロア3基×5フロア
	給水配管撤去	15.00	m	SGP-PA20
	給水配管新設	30.00	m	保温付架橋ポリエチレン管(PE20)
	給湯配管撤去	15.00	m	銅管20
	給湯配管新設	30.00	m	保温付架橋ポリエチレン管(PE20)
	排水管撤去	7.50	m	配管用炭素鋼鋼管50
	排水管新設	15.00	m	VP50
	換気ダクト撤去	15.00	m	SUSスパイラルダクトφ100
	換気ダクト新設	15.00	m	SUSスパイラルダクトφ100
	換気吸込グリ撤去・新設	5.00	個	150角程度
	中間取付ダクトファン撤去・新設	5.00	台	既存：三菱電機V-26ZMT(新設：同等品以上)
洗面化粧台撤去	5.00	台	W600鏡付き	
電 気 設 備 工 事	蛍光灯器具撤去	10.00	台	埋込形40W×1(防湿型)
	LED照明器具新設	10.00	台	LSS9MP/RP-4-30
	防水コンセント撤去	5.00	個	
	防水スイッチ新設・撤去	15.00	個	撤去：5.0個(防水形トリプルスイッチ)
	定温式感知器移設	5.00	個	防水型70℃ 1種
電気配線新設・撤去	45.00	m	撤去：30.00m	

- 4 一般共通事項
 - (1) 本仕様書・設計図書に記載無き事項については、以下によるものとする。
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築(改修)工事標準仕様書(機械設備工事編)、(電気設備工事編)、(建築工事編)』の最新版による。
 - (2) 本仕様書及び設計図書に記載なき事項については監督官と調整し、当然実施すべき事項は、請負者の負担において実施するものとする。また、作業上軽微なもので当然必要と思われる事項についても同様とする。
 - (3) 本仕様書及び作業に際し、疑義が生じた場合は監督官と協議したのち、実施するものとする。
 - (4) 請負者は着工に先立ち、施工に必要な施工計画書等監督官指示する書類を作成、提出し承諾を受けた後施工すること。
 - (5) 施工中の安全確保には十分に留意して現場管理を行うと共に、火災等の災害及び事故に注意する。また、必要に応じて養生等の処置を行うものとする。万一事故が発生した場合の補償については全て請負者の責任において処置し、官側は一切の責任を負わないものとする。
 - (6) 本工事に伴う駐屯地及び各建物への立入り、その他制限事項は当該駐屯地の諸規定に従うこととし、その都度監督官から指示する。
 - (7) 隊員もしくは部外者等に損害を与えた場合、又は施設等を破損した場合で、その原因が本工事に関わると認められた場合、請負業者が補償及び賠償の責を負うものとする。
 - (8) 本工事の完成に際しては、当該工事に関する箇所の清掃及び片付けを実施する。
 - (9) 本工事の写真はカラーとし、施工前、施工中、完了、主要な工事段階毎、隠蔽となる箇所、全ての使用材料及び監督官の指示する箇所を撮影し、工事用アルバム(A列4番)に整理し、監督官に提出するものとする。なお、写真データは工事完了後、確実に破棄するものとする。
 - (10) 本工事により発生した産業廃棄物は、請負者の責任において駐屯地外へ搬出し、法令に従い適切に処分するものとする。また、金属類等の発生材は重量を測定のうち、駐屯地内の監督官が指示する場所に集積し、発生材調書を提出するものとする。
 - (11) 本工事に必要な電気及び水は請負者が負担するものとする。なお、官側の電気及び水を使用する場合は監督官の承認後、請負者の負担で計量器を設置し、後日官側の請求に応じるものとする。

- 5 特記事項(1)
 - (1) 本工事着工に際し事前に工程表を作成し、監督官と協議したのち着工する。
 - (2) 本工事の作業時間は平日0830から1700を基準とし、1フロアの着手から完成に要する期間は、居住者への影響を考慮し局限させるものとする。
 - (3) 工事箇所への立ち入りは86号建物正面玄関及び南側入口のみとする。
 - (4) 図面の寸法は標準寸法であり、施工前に現地調査及び採寸を実施するものとする。
 - (5) 使用する材料等はすべて新品とし、承認図、カタログ等をもって事前に監督官の承認を得るものとする。

件 名	(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事	図 面 番 号	2 / 9
図 名	仕様書	縮 尺	
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 5月26日	

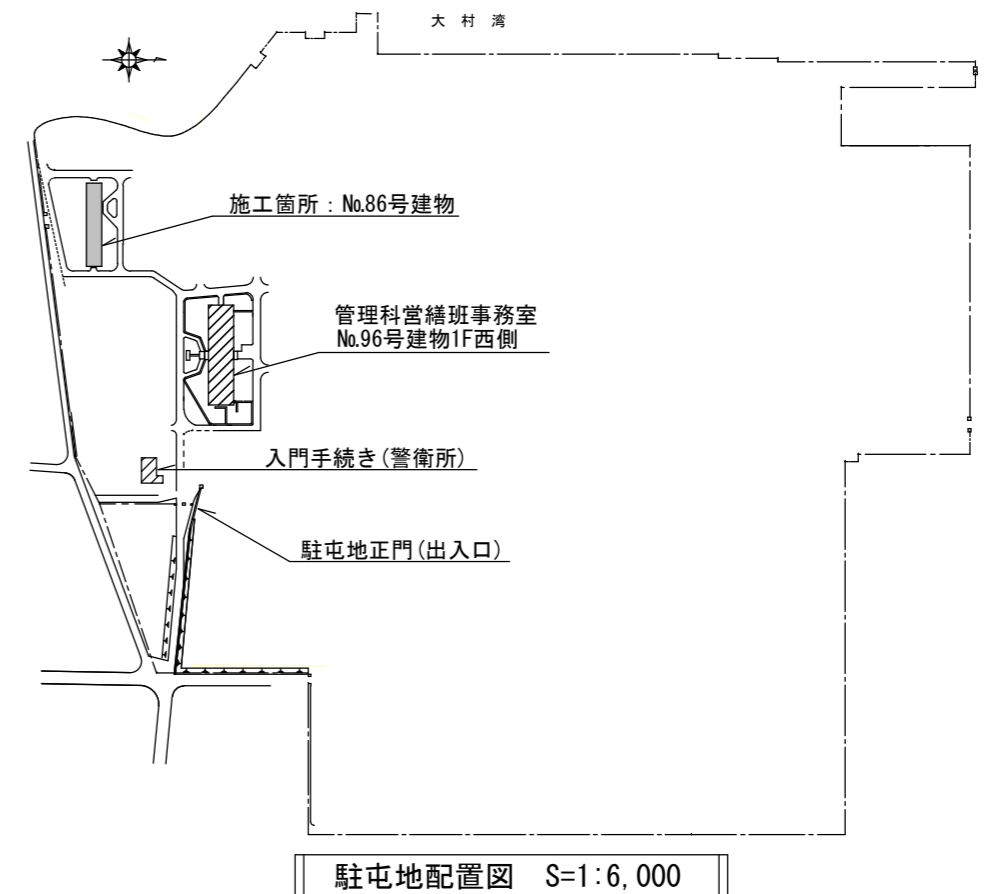
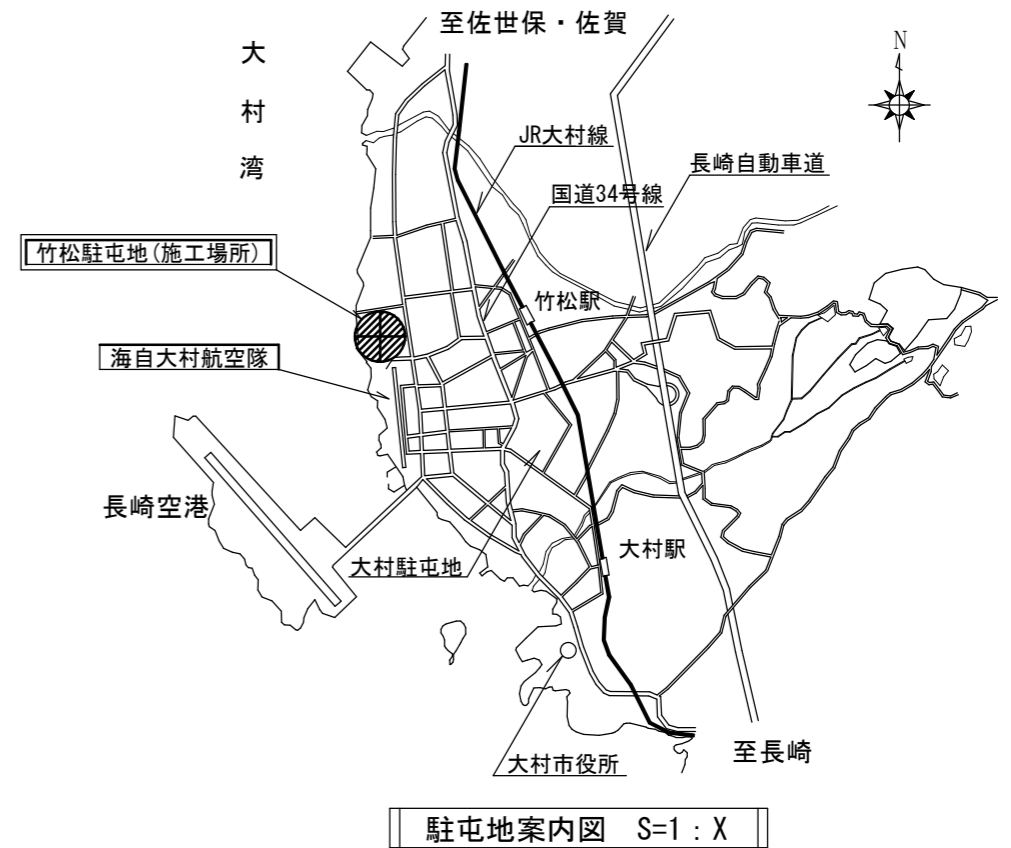
5 特記事項(2)

- (6) 既存内装材の壁ケイ酸カルシウム板及び複層塗材E仕上げについては、7%スト含有(レベル3)であるため、撤去作業・処分の際は、石綿障害予防規則に基づき必要な処置を講ずるものとする。
- (7) 本工事で使用するシャワーユニットは下記同等品以上のもの(他社の製品を含む。)とし、製造所の基本仕様に加え、官側が要求する性能を満たすものとする。
 - ア シャワーユニット
 - a TOTO(株) 品番: JSV0812L
 - b (株)リクシル 品番: SPB-0812EL
 - イ 官側が要求する性能
 - a サーモ付きシャワー水栓(短尺スパウト又は吐水パイプなし。)
 - b 収納棚(2段以上)及びミラー(W150×H550程度)
 - c ストップ付き節水シャワーヘッド
 - d LED照明器具及び換気グリル
 - e ドア額縁(4面)
- (8) 既存シャワーユニット排水トラップは半埋込形鋳鉄トラップのため、撤去・配管改修後にスラブ貫通部の樹脂モルタル補修を実施するものとする。
- (9) 照明器具等配線は既存流用とし、不足する場合はVV-Fケーブル用いて施工するものとする。また、配線器具の撤去については、天井裏隠蔽部分で実施し、配線はテーピング処理を実施する。
- (10) 新設給水、給湯管は保温付架橋ポリエチレン管(PE20A・保温厚10mm)を使用するものとする。
- (11) 新設する排水管は硬質ポリ塩化ビニル管VP50(JIS K6741)を使用するものとし、天井裏配管部分については保温(厚20mm)を行うものとする。
- (12) 軽量鉄骨壁下地(65形)のスタッド間隔は300mmとし、開口部には補強材を施し堅固に固定する。
- (13) 軽量鉄骨天井下地(19形)の野縁間隔は300mmとし、ハンガ、クリップ及び吊ボルトについては、既存のまま再使用可能とする。

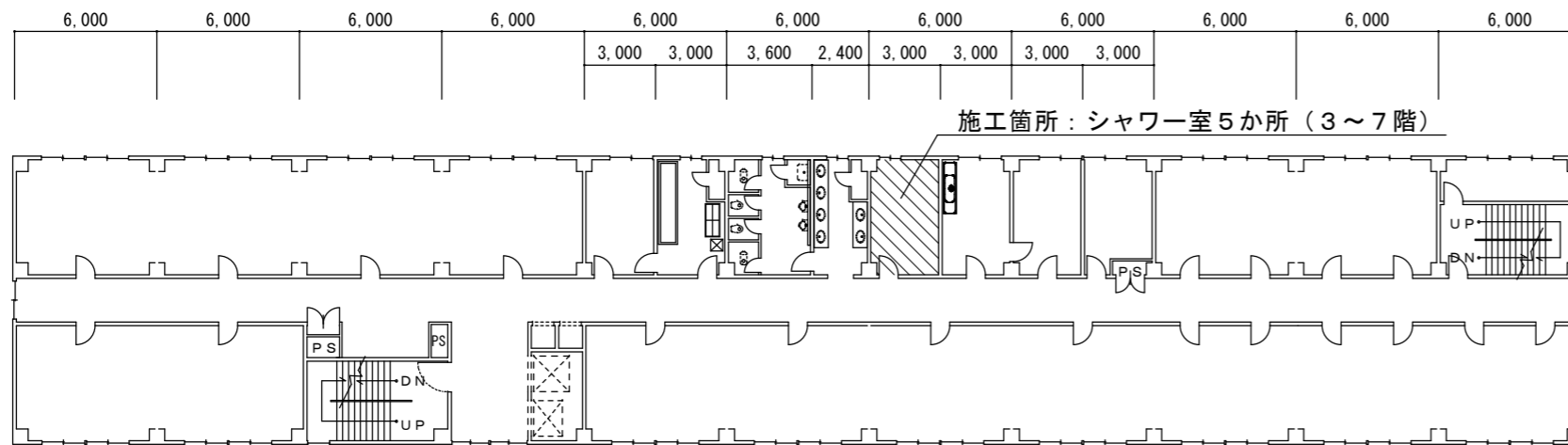
6 提出書類

- (1) 工事着工届
- (2) 工事工程表
- (3) 現場代理人等通知書
- (4) 施工図、カタログ、承認図等
- (5) 工事竣工届、完成検査願
- (6) 各種材料の出荷証明書
- (7) 材料検査簿
- (8) 工事日誌
- (9) 工事写真帳
- (10) 発生材報告書
- (11) 工事打合せ簿(必要とする場合)

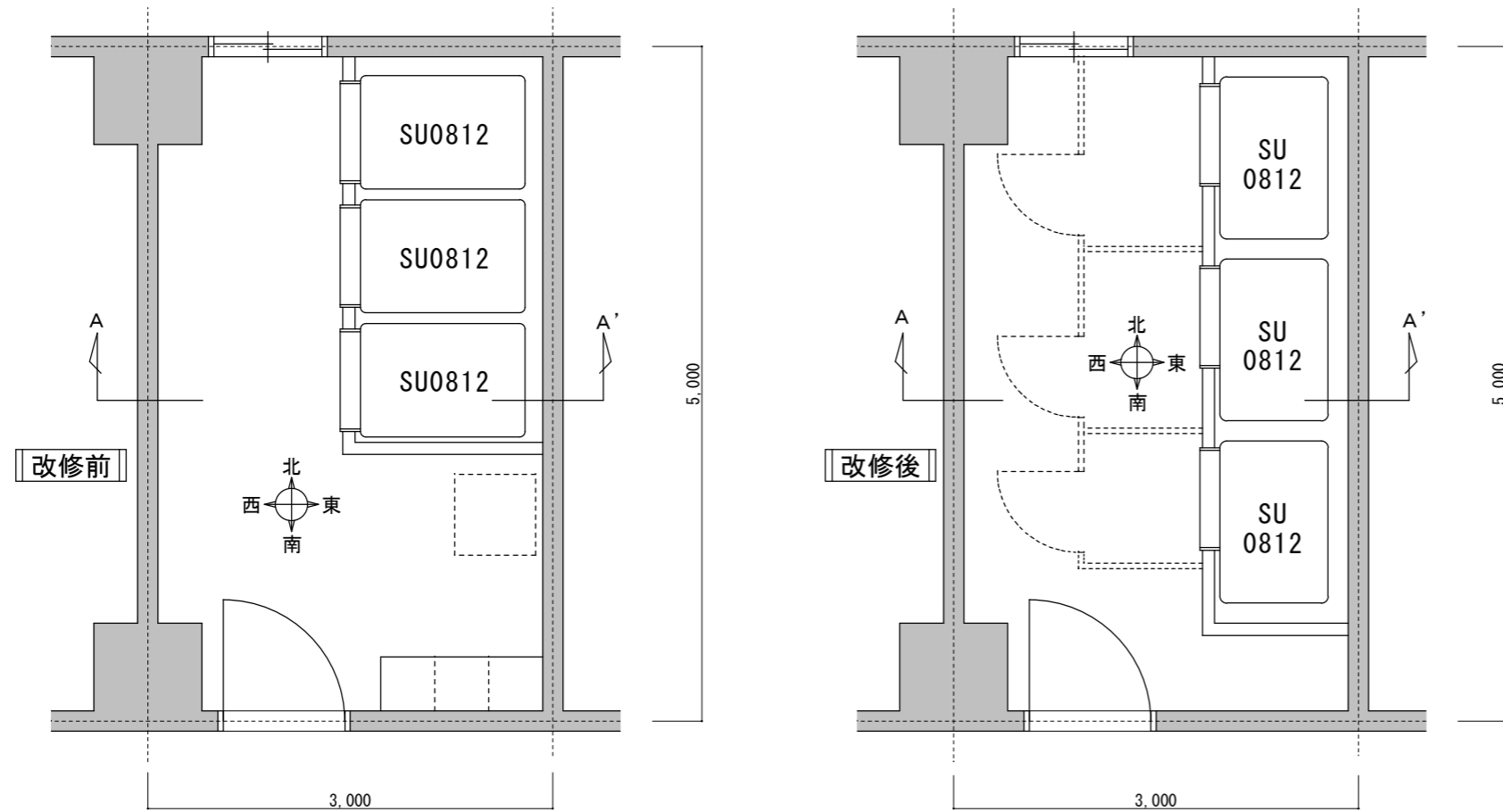
※(1)(5)(7)(10)(11)については事前に監督官から様式を示す。



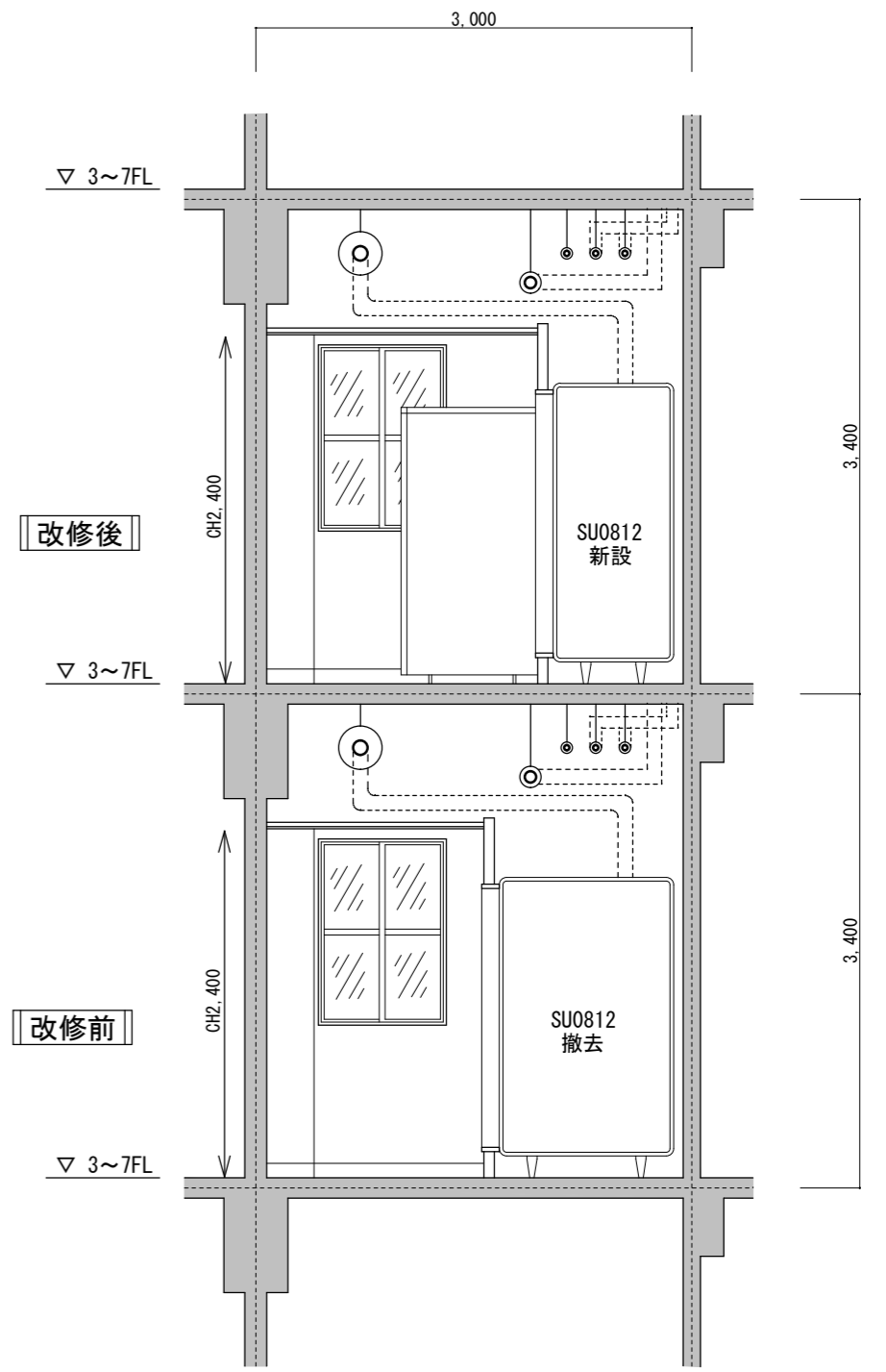
件名	(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事	図番	3/9
図名	仕様書・案内図・配置図	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 5月26日	



86号建物3~7階平面図 S=1:300



3~7階シャワー室改修前後平面図 S=1:50



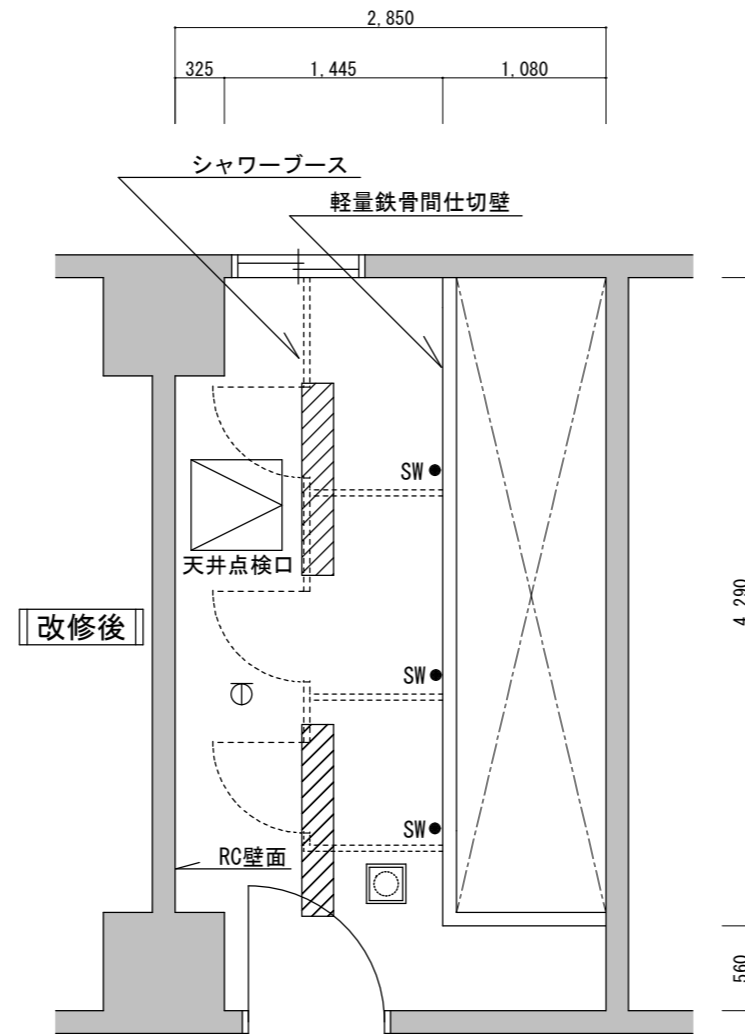
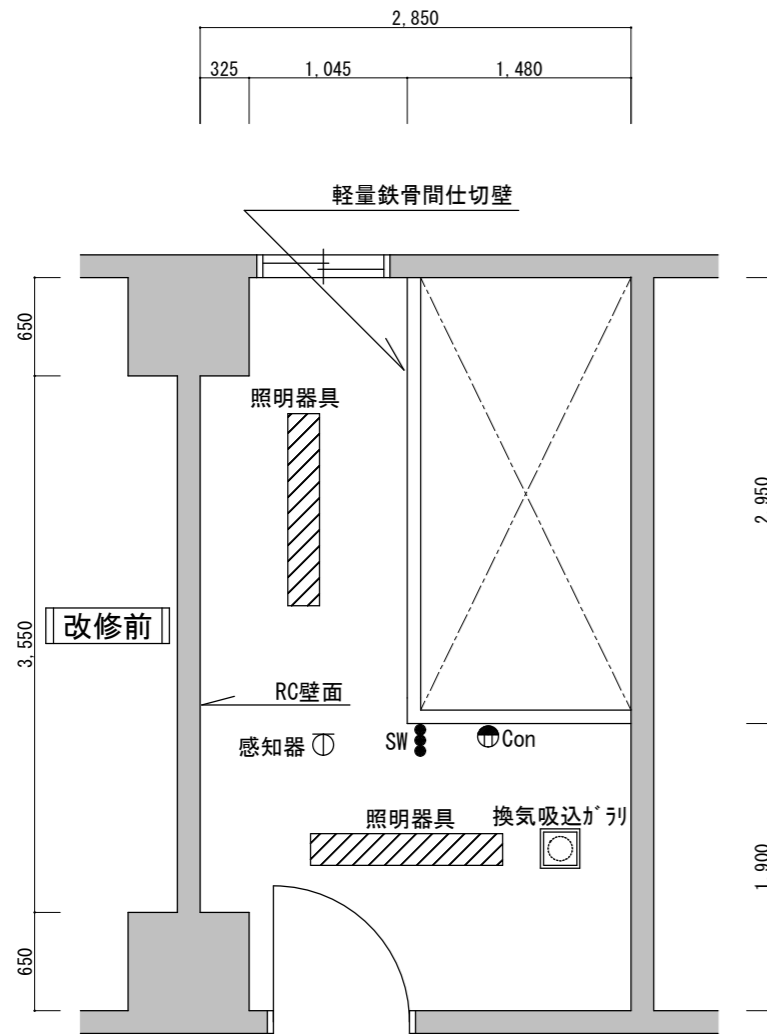
A~A' シャワー室矩計図 S=1:50

【建築改修内容】

	床	巾木	RC壁面	間仕切壁	壁塗装	天井	塗装	天井高	備考
改修前(既存)	ビニル床シート2.5撤去	ビニル巾木H=100撤去	内装用吹付タイル	軽量鉄骨壁下地W=65撤去	ケイ酸カルシウム板t8撤去	内装用吹付タイル	軽量鉄骨天井下地撤去	シーリングボード張りt9撤去	VE 2,400
改修後	ビニル床シート2.5張り	ビニル巾木H=100新設	複層塗材CE	軽量鉄骨壁下地W=65新設	ケイ酸カルシウム板t8新設	複層塗材CE	軽量鉄骨天井下地新設	シーリング石膏ボード張りt9.5新設	NAD 2,400

※RC壁面既存吹付タイル仕上げの塗装改修については既存面の汚れ・付着物除去のうえ、複層塗材CEの上塗材のみ施工とする。

件名	(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事	図番号	4/9
図名	シャワー室改修前後平面図・矩計図	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 5月26日	



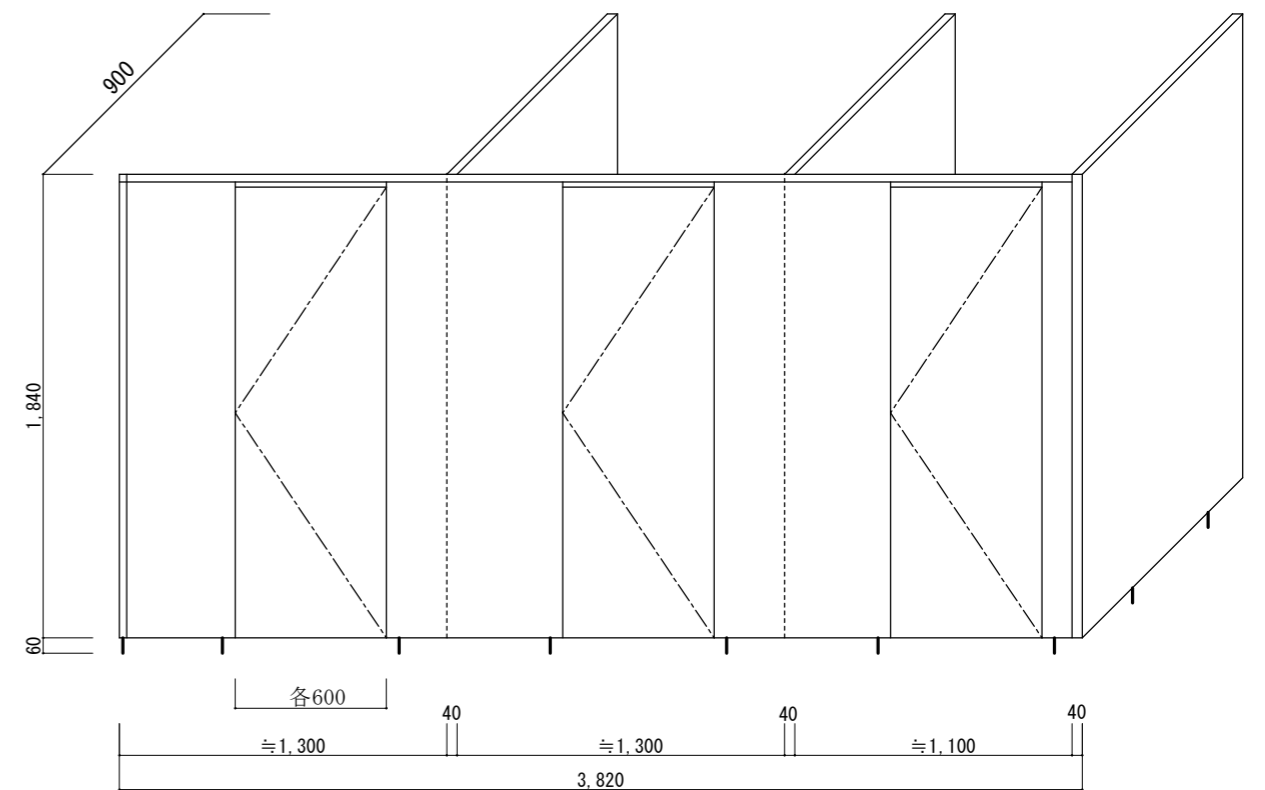
【撤去内容】

- 床：ビニル床シート2.5mm全面撤去
- 巾木：ビニル巾木H=100撤去
- RC壁：吹付タイル面汚れ、付着物除去
- 軽量鉄骨間仕切壁：全面撤去（ホート共）
- 天井：シーリングボード t9mm（軽鉄下地野縁共）全面撤去
- 定温式感知器（防水型70℃1種）：一時取外し
- 埋込型防湿蛍光灯器具（40W×1）×2台：撤去
- 換気吸込がら（170mm角）：撤去
- 防水コンクリート撤去（配線テープ処理）
- 防水トリプルスイッチ撤去（配線再利用）（SU照明）

【改修内容】

- 床：ビニル床シート2.5mm（抗菌）新設
- 巾木：ビニル巾木H=100新設
- RC壁：複層塗材CE上塗材塗装
- 軽量鉄骨間仕切壁：W=65・ケイカル板張りのうえ複層塗材CE塗装
- 天井：シーリングボード t9.5mm・NAD塗り（軽鉄下地野縁共）：新設
- 定温式感知器（防水型70℃1種）：再取付
- 直付型防湿LED照明器具（LSS9MP/PR-4-30）×2台：新設
- 換気吸込がら（150mm角程度）：新設
- 天井点検口（600mm角）×1か所：新設
- シャワーブース：新設
- 防水スイッチ新設×3か所（SU照明）

シャワー室床・天井伏図 S=1:50

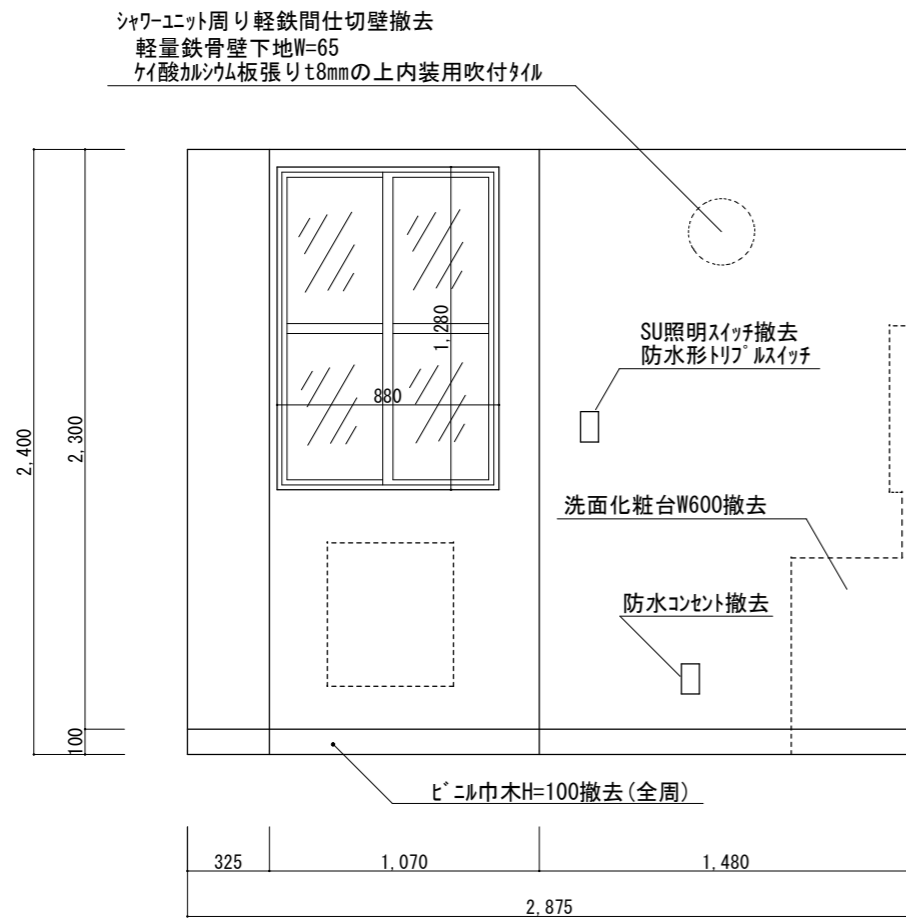


新設シャワーブース姿図 S=1:50

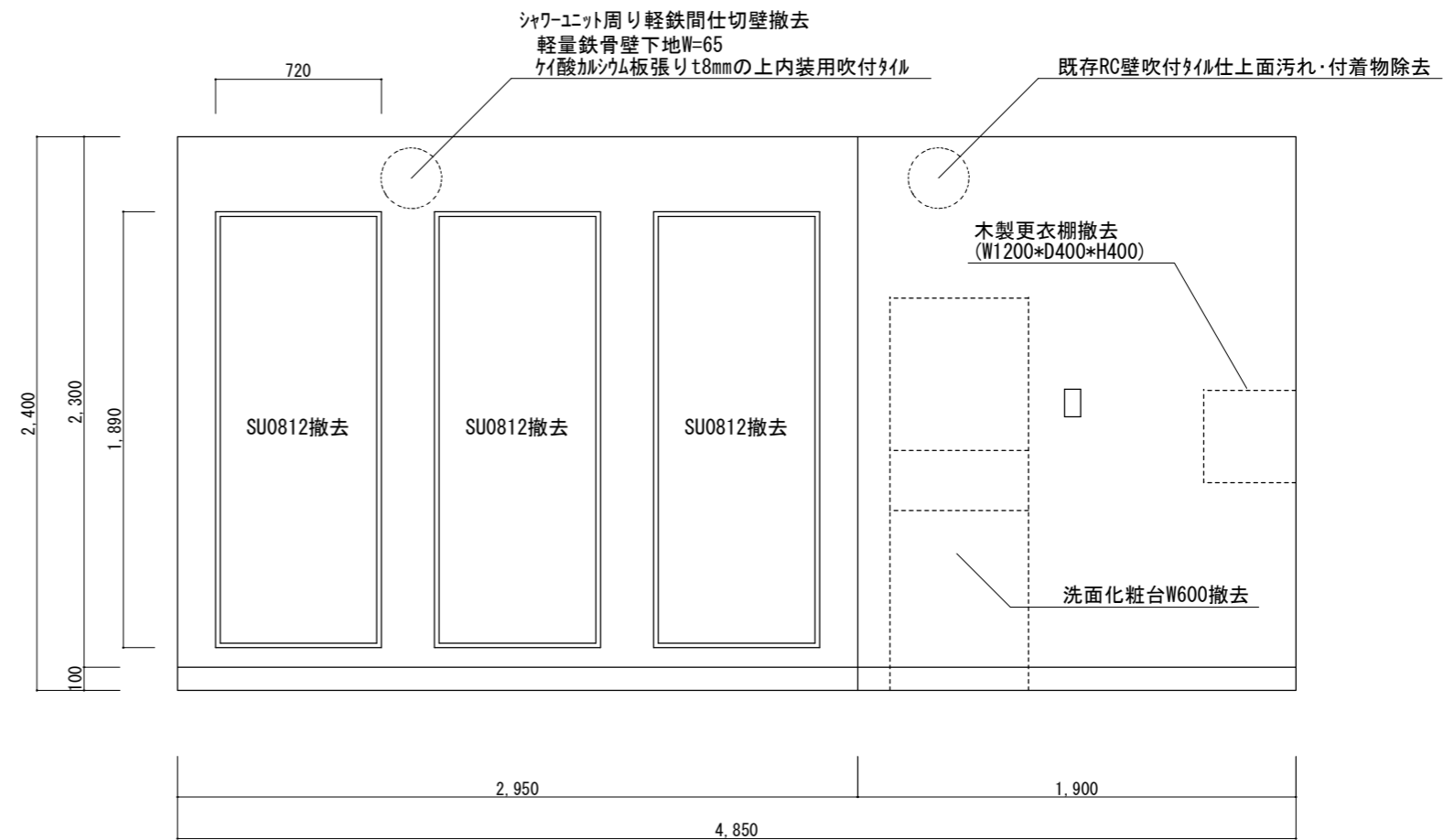
【新設シャワーブース建具表】

表面材・小口	ポリエステル化粧合板又はメラミン化粧合板（パステルカラー）
厚み	40mm
金物	グレビティヒンジ・スライドボルト・帽子掛けフック・表示錠 外開き戸当たり・棚板（200×300角R付）・付属金物一式
備考	ステンレス笠木・ステンレス脚金物・アルミエッジ ※扉は全て外開きとする。

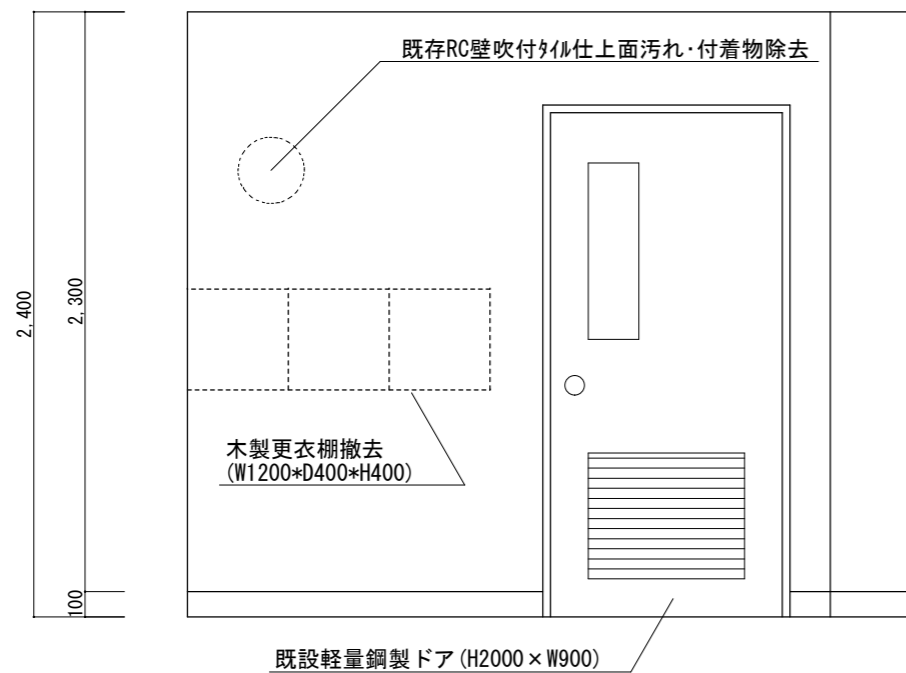
件名	(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事	図番	5/9
図名	シャワー室床・天井伏図・シャワーブース姿図	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 5月26日	



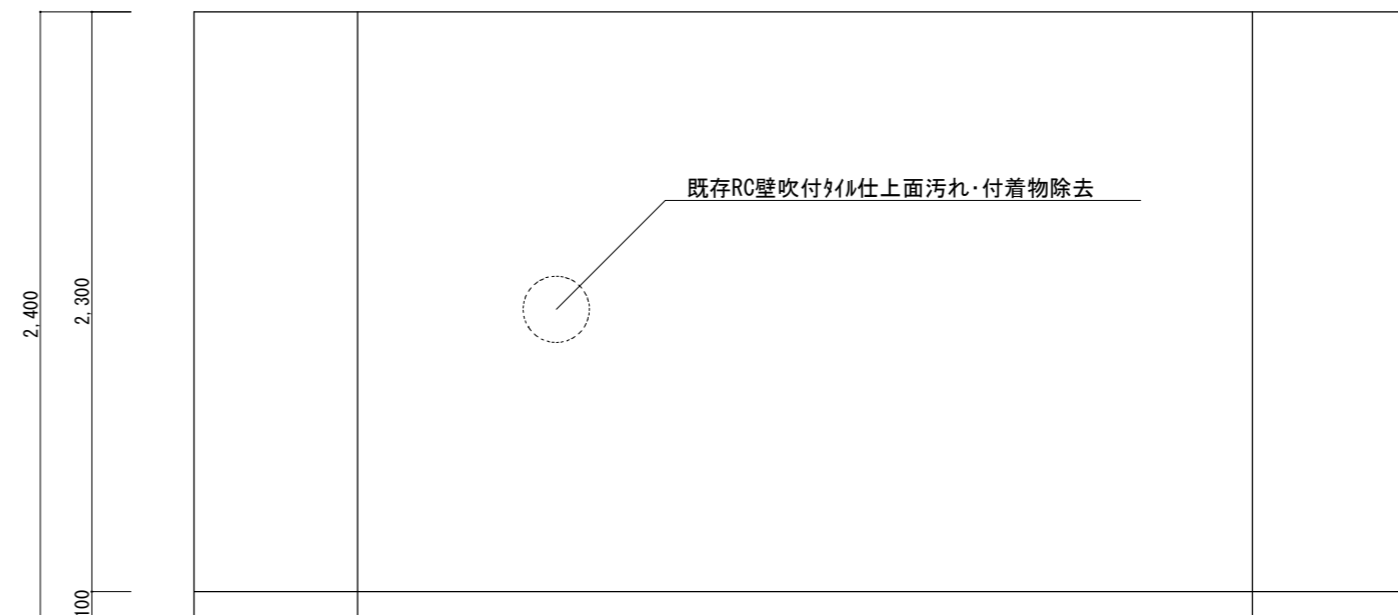
【改修前】シャワー室北面展開図 S=1:30



【改修前】シャワー室東面展開図 S=1:30

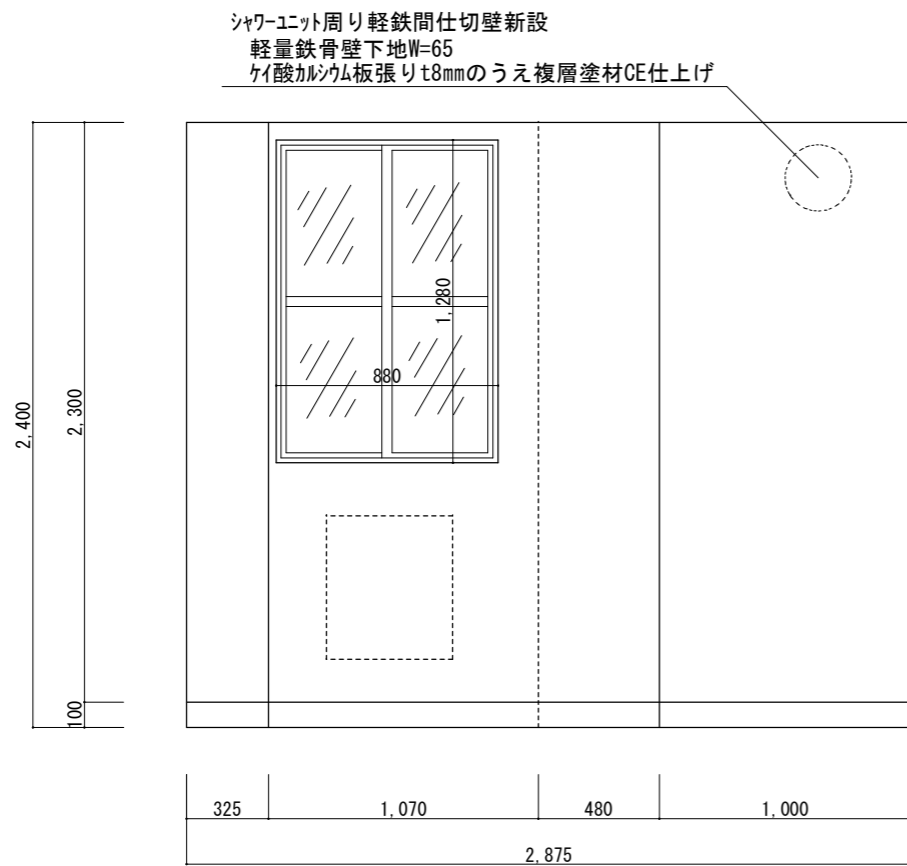


【改修前】シャワー室南面展開図 S=1:30

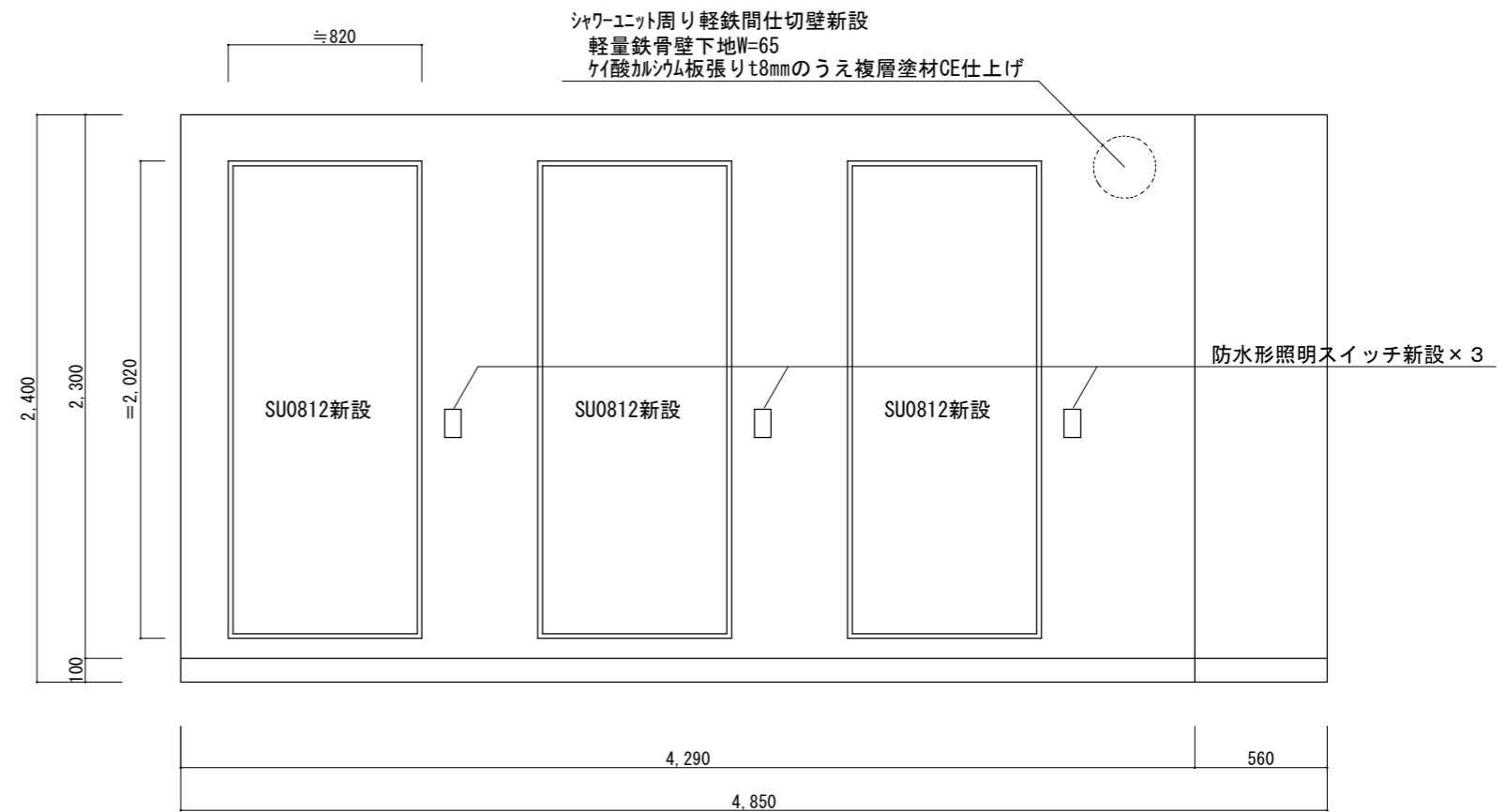


【改修前】シャワー室西面展開図 S=1:30

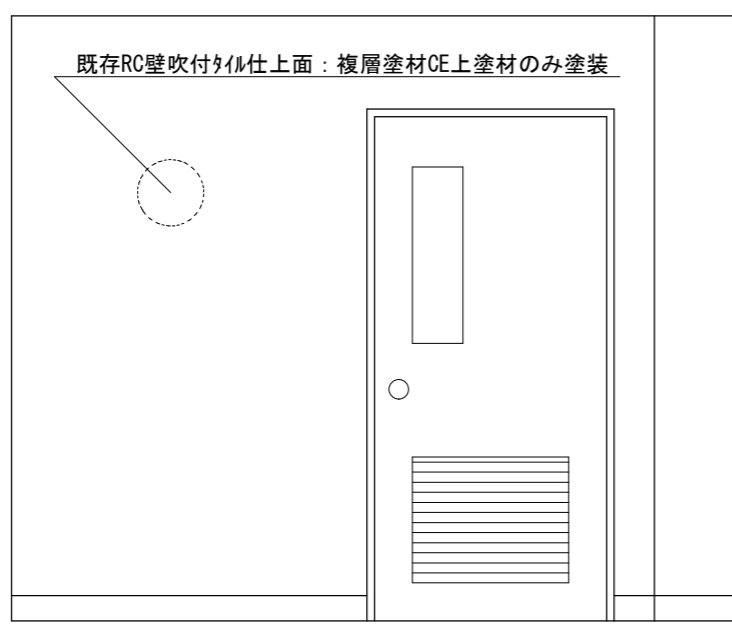
件名	(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事	図番号	6/9
図名	改修前シャワー室展開図	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 5月26日	



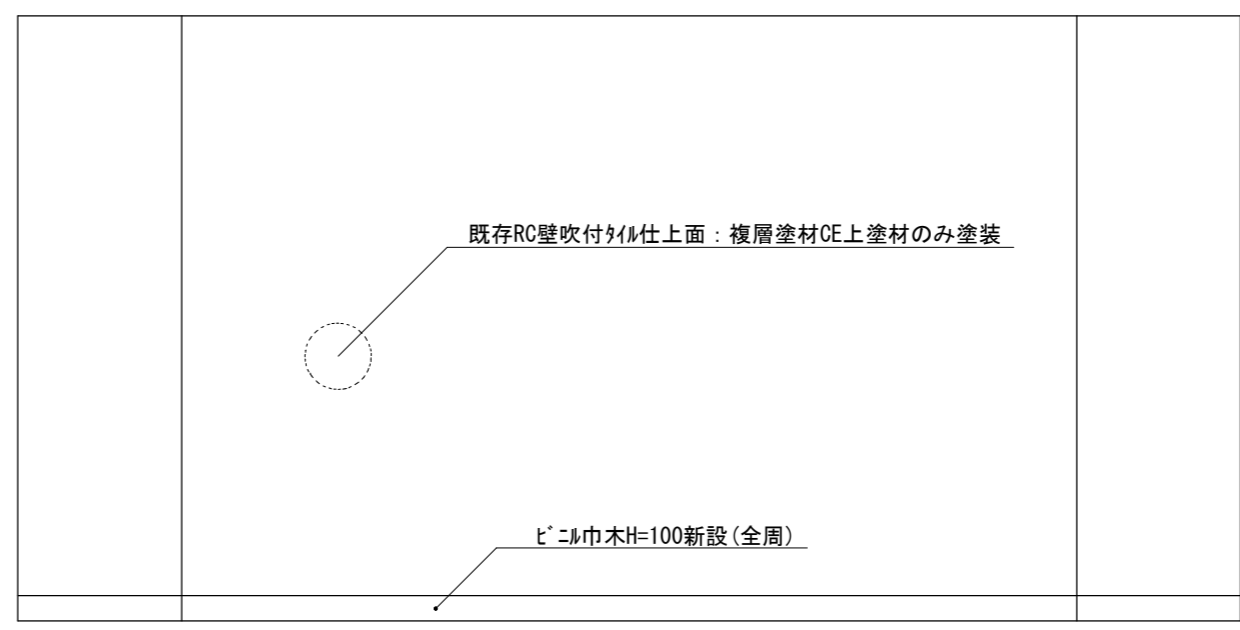
【改修後】シャワー室北面展開図 S=1:30



【改修後】シャワー室東面展開図 S=1:30

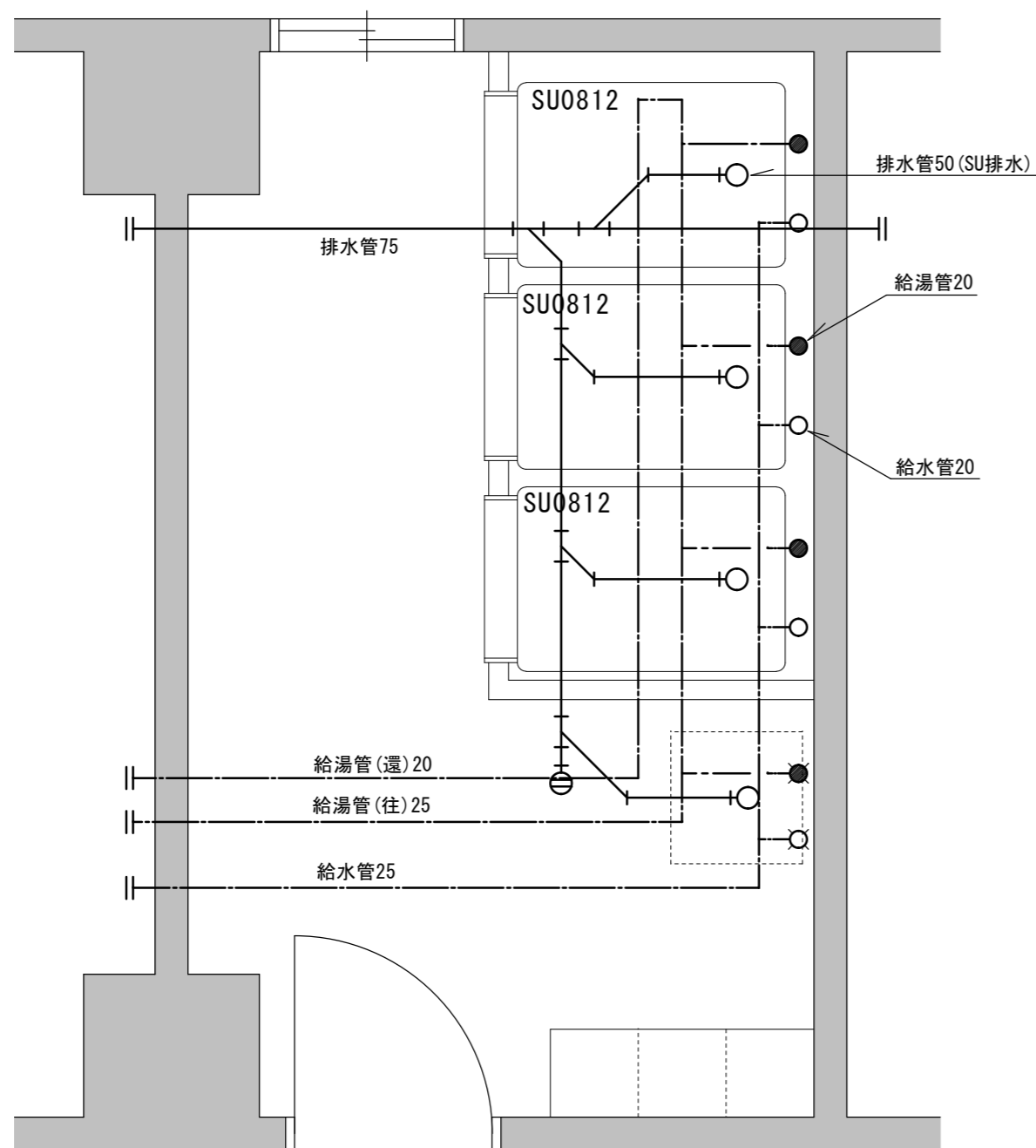


【改修後】シャワー室南面展開図 S=1:30



【改修後】シャワー室西面展開図 S=1:30

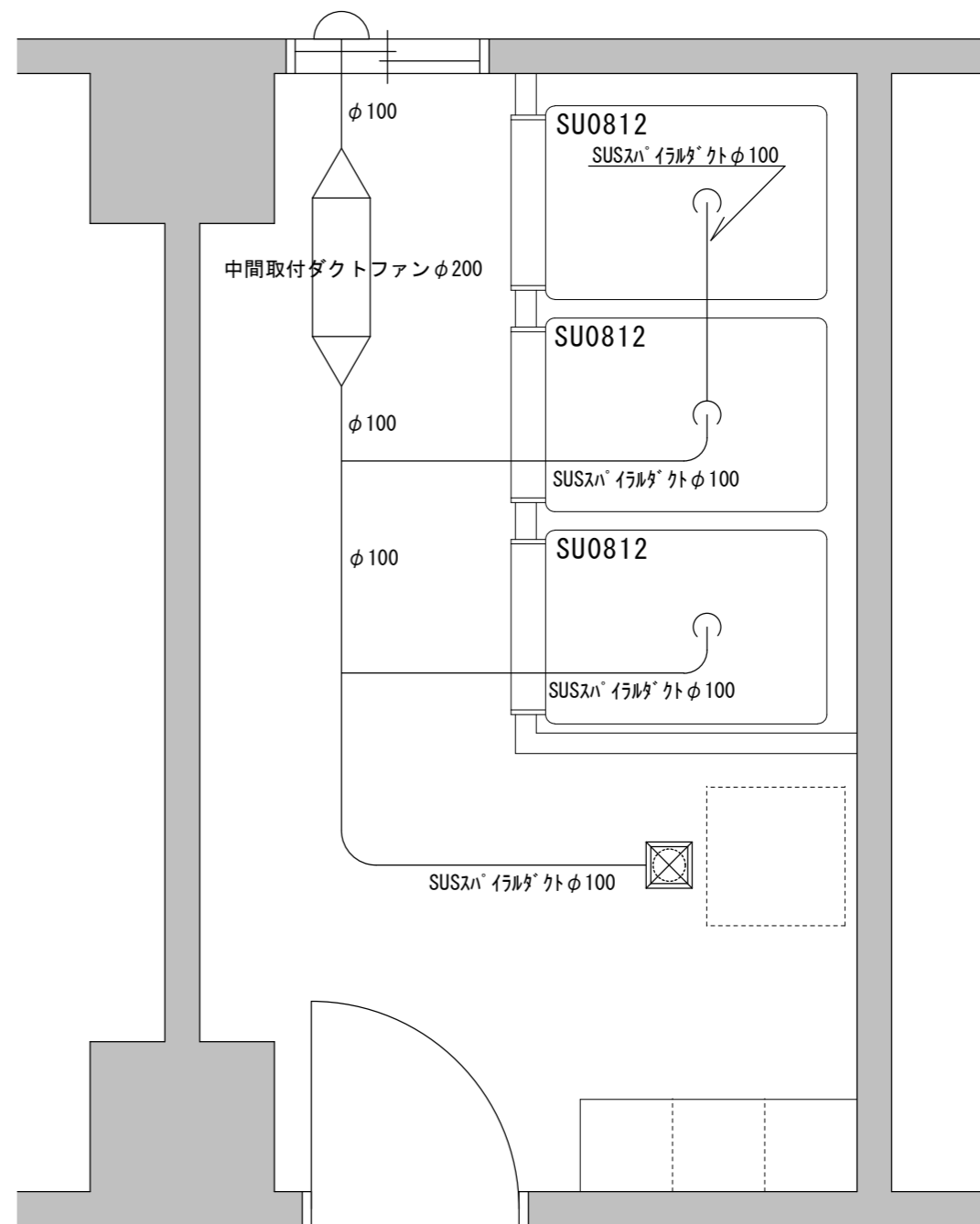
件名	(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事	図番号	7/9
図名	改修後シャワー室展開図	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 5月26日	



シャワー室スラブ下既設給排水管系統図 S=1:30

【凡例】

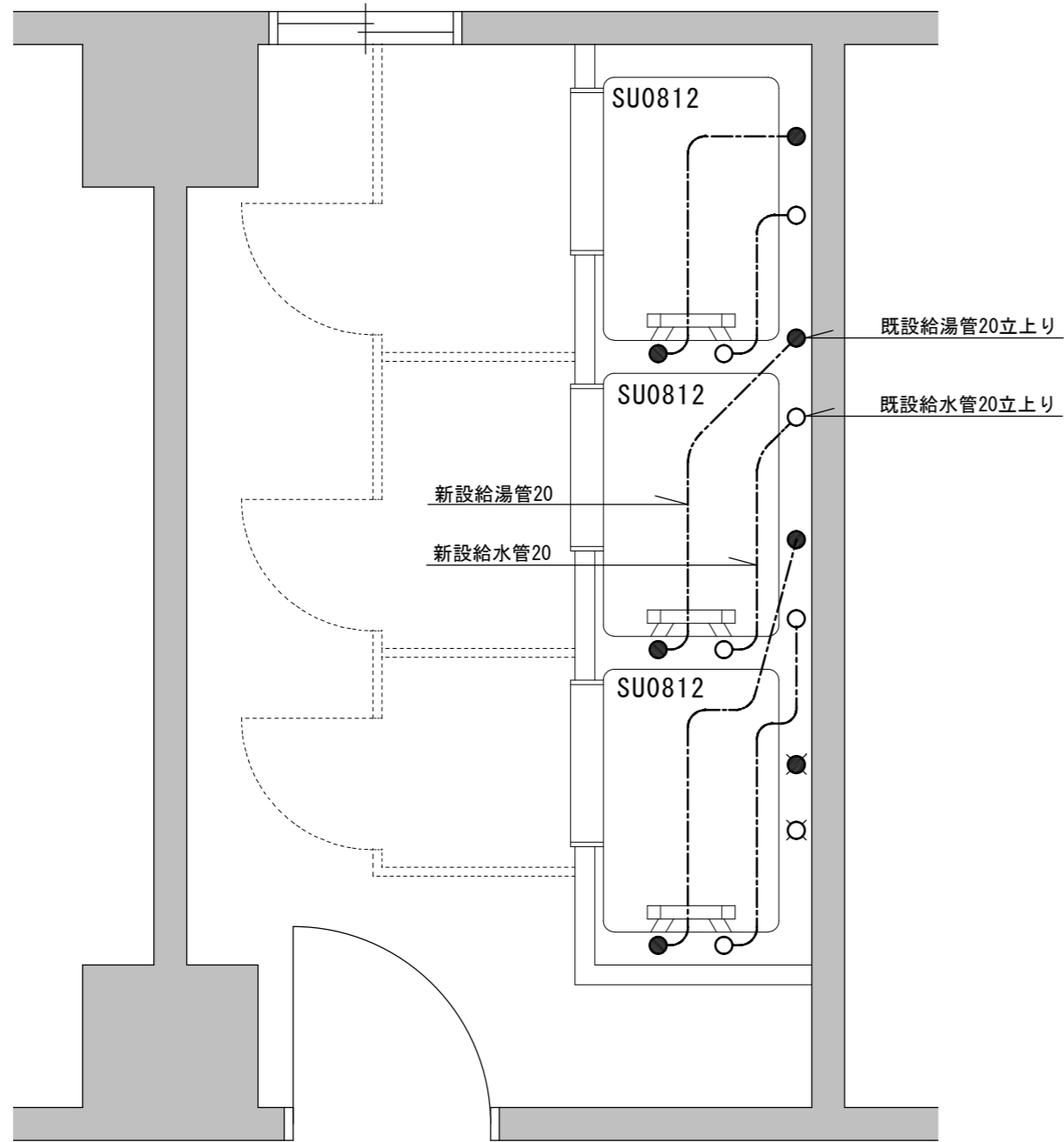
- : SU給湯管立ち上がり20 (銅管 JIS H3300)
- : SU給水管立ち上がり20 (SGP-PA)
- ⊕○ : SU排水管立ち上がり50 (配管用炭素鋼管(白))



シャワー室スラブ下既設換気ダクト系統図 S=1:30

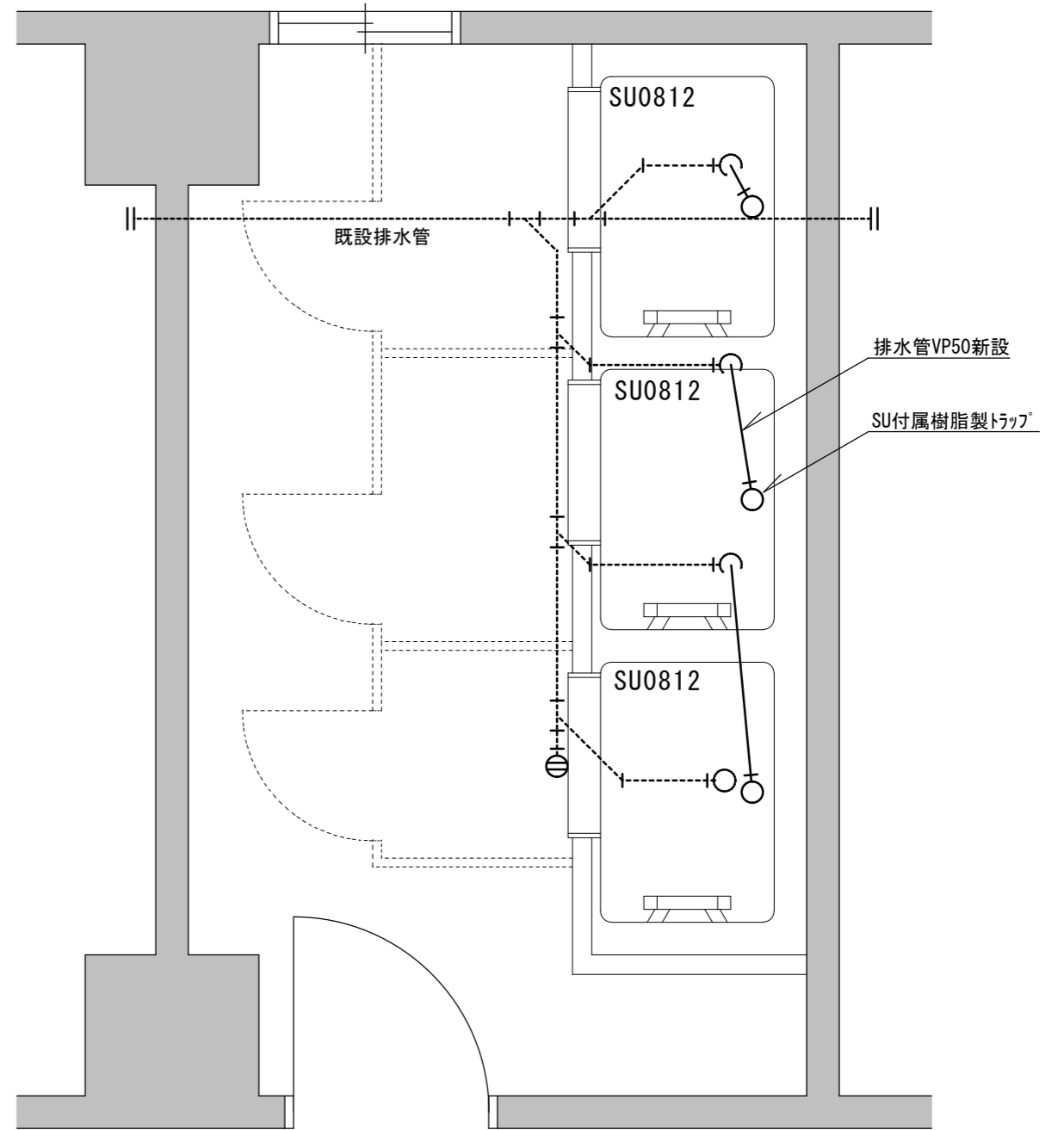
※新設シャワーユニット及び換気吸込ガラリ用ダクトは、既存ダクトに適宜の位置で接続替えとする。
 ※中間取付ダクトファン取替 (既設: 三菱電機V-26ZMT・新設は既設同等品以上とする。)

件名	(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事	図面番	8/9
図名	既設配管等系統図	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 5月26日	



※新設シャワーユニット用給湯管及び給水管については、既設配管をスラブ上で切断のうえ、接続替えとする。
 ※洗面台用給水・給湯管については、スラブ下の主管分岐部分で切断のうえ、止水処理すること。

改修給水・給湯管配管系統図 S=1:30



※新設シャワーユニット用排水管については、既設配管をスラブ下で切断のうえ、接続替えとする。
 (スラブ貫通部は樹脂モルタル補修とする。)

改修排水管配管系統図 S=1:30

件名	(R7)竹松86号建物シャワー室改修工事	図番	9/9
図名	改修配管等系統図	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 5月26日	